楷書で丁寧に。
氏名・生年月日は本籍地で
取得する身分証明書のとおり。
ふりがなも忘れずに記入。

履　　歴

履歴書用（行政書士証票用ともに）
写真は正面、無帽、上三分身、無背景
（3×2.5cm）提出の日3か月以内に撮影したもの。
裏面に氏名、撮影年月日を記入したもの。

ふりがな　　ぎょうせい　はなこ

氏　　名

行政　花子

注）楷書体でくずさずに正確に書くこと。

大正
(昭和)　30　年　12　月　1　日生　（ 64 ）歳
平成

男　・　(女)

現 住 所

東京都港区虎ノ門四丁目１番２８号

性別・現住所は住民票のとおり
省略せず、提出日の年齢を記入。

注）都道府県名から書くこと。

学　　歴　・　職　　歴

注）学校教育法及び教育基本法に定める義務教育修了以降現在まで、無職や休職の期間も記載し、現在の状況まで明確になるよう中断なく記載すること。

学校教育法及び学校教育基本法に
定める義務教育修了以降、現在まで
無職や休職の期間、中途退学や専修学
校等に通学した経歴も記入。

年	月	官公署、会社、団体等 主な職務内容	所　在　地 （都道府県・市区町村名）
昭和　45	4	○○高校　入学	東京都港区
～　48	3	卒業	
昭和　48	4	○○大学　入学	東京都千代田区
～　48	8	○○大学　中途退学	
48	9	専門学校入学準備のため無職	
～　49	3		
49	4	○○専門学校入学	東京都中野区
～　51	3	○○専門学校　卒業	
51	4	○○接骨院 勤務	東京都中野区
～平成22	9	柔道整体師として施術	
22	10	求職中のため無職	
～　24	3		
24	4	○○商会　勤務	神奈川県横浜市
～　26	7	ガス機器販売営業および事務所での出納事務	
26	8	行政書士登録に向けた準備期間のため無職	
～　27	11		
27	12	アルバイト従事	神奈川県横浜市
～　29	8	飲食店勤務	
29	9	海外（アメリカ）への短期留学	アメリカ合衆国
～　30	3		ニューヨーク州
30	4	司法書士登録、○○司法書士事務所　勤務	東京都港区
～		司法書士業務等　　現在に至る	

上段には所属会社等、
下段は担当した主な
職務内容を記入すること。

最後には「現在に至る」等と記入し
提出時までの職歴のすべてであることが
確認できるようにすること。

～			
～			
～			
～			

個人開業の方は設置予定の事務所、行政書士法人の社員となる方は常駐する事務所、使用人行政書士となる方は主として勤務する事務所について記入。

事務所から自宅までの所要時間を記入。

行政書士事務所

所在地	区町村名のみ　〔事務所から自宅までの所要時間（利用交通手段は不問）　約　0　分〕 **東京都港区**
形　態	①. 自宅兼事務所　2. 自宅以外の独立事務所　3. 共同・合同事務所　4. 法人内事務所 注）共同事務所…行政書士が複数で、同一室内に事務所を設置する場合 合同事務所…行政書士が他士業者と、同一室内に事務所を設置する場合
使用権	①. 自己所有　2. 親族所有　3. 賃貸借契約　4. 使用貸借契約

他士業者もしくは行政書士と同じ部屋で業を行う場合、併せて「共同合同事務所届」も提出すること。

行政書士業務の遂行について

行政書士法第６条の２第２項第１号には該当せず、行政書士の業務を行うことに支障ありません。

上記のとおり相違ありません。

令和　元　年　12　月　16　日

氏　名　　行政　花子　　花行子政

必ず「直筆署名」すること。
パソコンで記名したもの、直筆だがコピーの場合などは書き直しをお願いします。
また、申請書と同一の印を押印すること。

注）提出日を記入し、自筆署名のうえ、申請書と同一の印を押すこと。

※申請書類に重大な偽りの記載をした場合は、登録を取り消されることがあるので注意すること。

予定する事務所に該当する形態及び使用権に○をすること。
なお、法律上、自身の事務所を保有しない「行政書士の社員」又は「使用人行政書士」の場合、所在地のみ記入すること。

（行政書士会）
受　付　欄

受付
‘19. 12. 16
○○県行政書士会